

事業概要シート

施策	1305	林業の振興	<<>の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く
事業名	分収林対策事業	現状維持	予算額 16,027 千円 << 2,835 >>千円
事業期間	令和7年度 ~		財源内訳 国庫支出金 千円 県支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 16,027 千円
根拠法令要綱等			

【事業の目的・概要・対象】

事業目的

- ・市有林(分収林)の契約解除を行う。

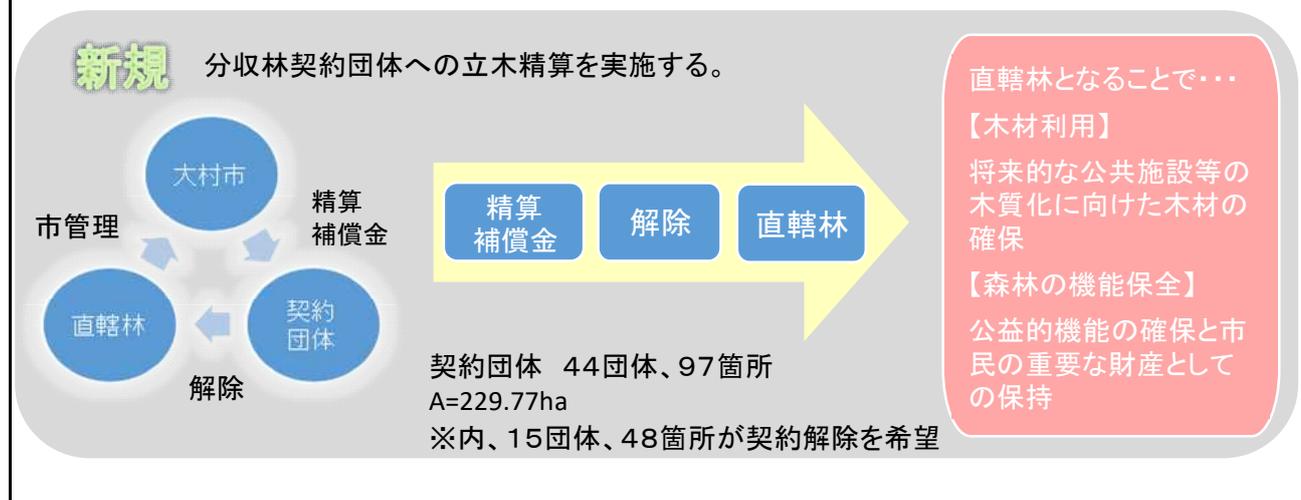
事業概要

【精算補償】

- ・契約団体の意向を確認し、立木の状態のままに評価額を算定し、分収割合に応じた精算補償金を契約団体へ支払うことで契約解除を行う。

事業対象

- ・市有林(直轄林及び分収林(部分林・委託林))
- ※直轄林: 市が直接管理を行うもの。
- ※部分林: 市の土地に契約団体が植林し管理を行うもの。
- ※委託林: 市の土地に市で植林し契約団体が管理を行うもの。



【背景】

市民の財産である市有林を健全な森林として管理し、水源のかん養、山地災害の防止、地球温暖化の防止など、公益的機能の確保と市民の重要な財産としての保持を図る。また、分収林においては構成員の高齢化や後継者不足など今後の管理が困難な事情を踏まえ、分収林の解除を実施する。解除後は直轄林として市で管理を実施し、適正な森林の保全や今後計画されている公共施設等の木質化に向けて木材の確保などに務める。

担当課	農林水産部農林水産整備課	課長	山本 雅喜
担当者	永田 毅郎	問合せ先	0957-53-4111 (内線254)

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	R 6 (実績)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)	R 10 (計画)
①	分収林契約の解除件数	件	0	6	9	12	16
②							

【成果指標】

指標名		単位	R 6 (実績)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)	R 10 (計画)
①							
②							

【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	合計
事業費	0	0	2,835	43,920	30,817	30,783	108,355
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他							0
一般財源	0	0	2,835	43,920	30,817	30,783	108,355
人件費	0	0	1,774	1,774	1,774	1,774	7,095
職員(人)	0.00人	0.00人	0.22人	0.22人	0.22人	0.22人	0.88人
時間外勤務(h)	0h	0h	87h	87h	87h	87h	348h
会計年度任用職員(人)							0.00人
フルコスト	0	0	4,609	45,694	32,591	32,557	115,450

妥当性 (市の関与)	市民の財産である市有林を健全な森林として管理し、水源のかん養、山地災害の防止、地球温暖化の防止など、公益的機能の確保と市民の重要な財産としての保持を図る。
有効性 (施策貢献度)	本事業を行うことで水源のかん養や山地災害の防止にもなり、公共施設等の木質化に向けた木材の確保も安定的になるため施策貢献度は高い。
効率性 (コスト)	維持管理費及び精算補償金は一般財源となるが、精算補償金による精算方法では立木を残したままでの補償を行うため、本来必要となる伐採後の植林や下刈りなど、長期に係る森林の保育費用の負担が軽減され、将来を見据えると財政への影響は少なくなると考えられる。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	1次評価のとおり